

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19/20	家族は、事業所に対して遠慮や、気遣いがあり、意見や要望のすべてを言える状況ではない。家族と事業所、利用者本人がともに支えあう関係を構築したい。	家族や知人が本人を訪問する回数が増えている。	ホーム便りの内容を より具体的にして、本人の思いを伝えるようにする。絆が深まる情報を提供して家族や知人が身近に思えるようにする。アンケートを実施して家族の思いや意見を収集する。	12ヶ月
2	37/38	要望カードを使い、本人の要望を汲み取るようにしているが、日々の生活の中での何気ない意向をを汲み取るまでには至っていない。	本人が思いついた意向や要望を、安心して職員に伝えることができる。	認知症により、正しい判断ができなかったとしても、本人の選択をそのまま受け入れ、傾聴できるように研修を行う。実際に傾聴・同意できているかを自己評価表により、定期的にチェックし、ステップアップを目指す。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。